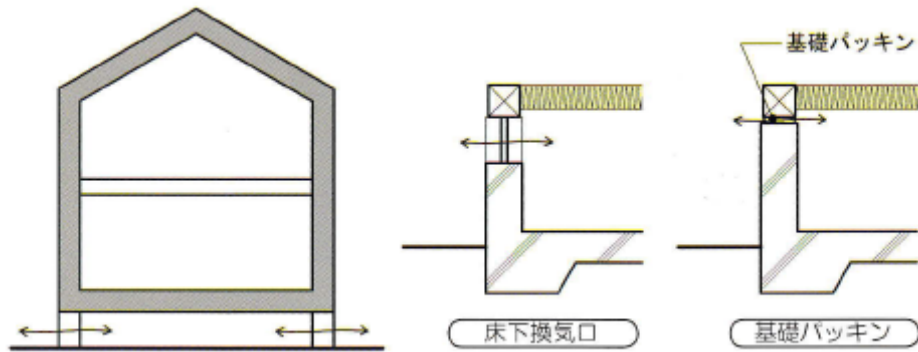
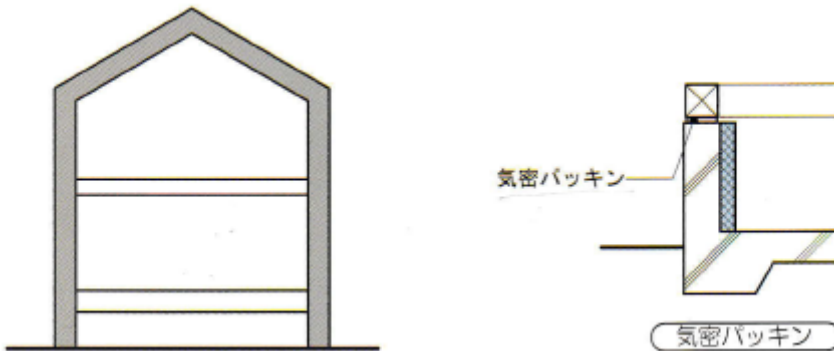


<参考> 基礎の断熱 床断熱と基礎断熱の方法がある。

○床断熱は、床下が外部空間になるので、床下換気口や基礎天端と土台の間に基礎パッキンを設置して床下の換気をする。外壁や間仕切り壁と床との接合部には気流止めが必要。

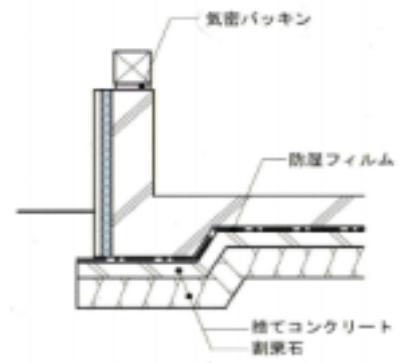


○基礎断熱は、床下が熱的に室内空間になるので、床下換気口を設けず基礎天端と土台の間に機密パッキンを設置して機密性を確保する。外壁や間仕切り壁と床との接合部には気流止めは必要ない。基礎断熱は、基礎外側断熱と基礎内側断熱がある。



基礎外側断熱：

断熱材はコンクリート同時打込みが基本。吸水性の少ないボード状プラスチック系断熱材を、立上りの最下部から天端まで施工する。地盤面は防湿措置を施し断熱材は断熱材メーカー指定の材料で外装する。シロアリ生息地域では地盤を謀議処理し認定を受けた謀議断熱材を使用する。



基礎内側断熱

断熱材はコンクリート同時打込み又は後貼りで施工。後貼り施工では一液・無溶剤変成シリコーン樹脂系接着剤等でボード状プラスチック系断熱材を貼り付ける。基礎の天端と土台の取合い部に結露防止の現場発泡断熱材を施す。現場発泡断熱材は硬質ウレタンフォーム A 種 3 以外を使用。シロアリの食害を避ける有効な施工方法。

